



阪神・淡路大震災では

6400人余りもの命を奪った阪神・淡路大震災。しかし、近所の人たちの協力や助け合いがなければ、犠牲者はより多くなっていたことでしょう。

自主防災会の活動

みんなの地域をみんなで守るための訓練や研修に積極的に参加し、災害発生時に備えましょう。



政による災害応急活動がすぐに対応できなかつたりする場合があります。いざというとき頼りになるのは、日常生活で顔を合わせている地域コミュニティの仲間です。自主防災会を中心に、地域の防災活動に取り組むことが大切です。

広げよう、防災を通じた

「コミュニティの輪」

近所どのような人が住んでいるのか、家族構成はどうなっているのか。こうしたことを隣近所の住民同士が知り合っているだけでも、災害時の行動が変わってきます。重要なのは人と人とのつながりや人が集まる組織づくり。防災を通してコミュニティの輪を広げましょう。

頼りになるのは

「近所の人たち」

阪神・淡路大震災では、消防署などの公的機関に助けられた人より、近所の人たちに助けられた人の方が圧倒的に多かったと言われています。また、大都会である神戸市に比べ、地域コミュニティのつながりが強かった淡路島の北淡町では、近所の人たちが力を合わせ

て救出活動を行ったため、被害者が少なかったとのことです。災害発生時に、近所の人たちがどれだけ頼りになるかを物語っています。

「役割と活動」

平時時と災害時。自主防災会の

田原市では、すべての地区で自主防災会が組織され、さまざまな活動が行われています。

平時時は災害に備えて…

- ・地域内の安全点検
- ・家庭への防災知識の普及・啓発
- ・防災訓練など

災害発生時には協力して…

- ・初期消火や被災者の救出・救助情報収集
- ・避難所の運営など

助けたり助けられたりが当たり前という意識を持ち、地域の自主防災会の活動に参加しましょう。

防災対策室 23局3548

自主防災会 防災訓練

11月12日日

時間 午前7時～
場所 各地区の集会所
や避難場所など

雨天中止